

3ちゃん・矢次（紫波郡矢巾町）

経営概要：約50aの畑で味噌用大豆を栽培。

味噌及び味噌を使用した加工品（がんづき等）を製造、販売。

〔6次産業化総合化事業計画について〕

テーマ：～矢巾町の母ちゃんたちが取り組む6次産業化～

「3ちゃん味噌」の製造、販売

事業概要：グループ構成員が栽培する米、大豆を使用して味噌、麴、菓子等を加工、製造し、直売所や味噌オーナー制度により販売。



①取組の経緯

- 平成12年頃から、岩手中央農協の女性部で味噌の製造を行っていた。
- 味噌を食べた地域の方々から「美味しい味噌だね」といった声を受けて、味噌をしっかりとした商品として販売しようと考えた。
- そこで、これまで取り組んできたグループが、味噌及び味噌を使用した加工品（がんづき等）の製造、販売を行う6次産業化総合化事業計画を策定し、平成24年10月に認定を受けた。

②課題

- 味噌及び味噌を使用した加工品等の製造、販売を本格的に開始したものの、初年度に比べて2年目は売上が低下。
- 現在はがんづきを月600個販売しているが、月1,000個販売できるようにしたい。
- いろいろ販売を工夫したが、売上が伸びない理由はよく分からずにいた。

③課題解決の方法

- 自分たちの抱える課題の把握及びその解決策を検討するために、町役場を通じて6次産業化プランナーに相談。
- 指導いただいたプランナーから商品の見せ方やブランディングに問題があるというアドバイスを受け、商品のパッケージデザインをブラッシュアップした。

Before



プランナーのアドバイスによりデザインを一新！



After

④取組の効果

- 県内各地からの取材・視察が増え、知名度も向上。それに伴って周囲の人たちから声をかけられるようになった。
- 取材・視察に来た人や、商品を購入したお客様、プランナーから様々なアドバイス、要望が伝えられるようになったので、それに応えて行くのが新たな課題である。
- デザインのブラッシュアップをしたばかりで、本格販売はこれから。今後は県内外の商談会に積極的に参加し販路の拡大を図っていく。

⑤取組のポイント

- 想いを共有できる仲間で行うこと→互いをフォローすることができる。
- 認定を受けることでサポートが受けられる→計画を立てることでしっかりとやらなければという思いが芽生える。また、様々なサポートが受けられる。
- 町役場との連携→事業者単独では難しい場面を町役場がサポートしてくれる。